

3) セン断応力と移動限界

令和2年度から令和4年度までの夏（7～8月）と冬（12～1月）のせん断応力と堆積物・稚貝の移動限界と入力したパラメータは、図26に示すとおりである。当該地先は、既往文献³⁾より波浪による減耗が示唆されており、せん断応力と堆積物・稚貝の移動限界をみても、夏季・冬季ともに殻長10mmのアサリ移動限界値を半分以上超えていることがわかる。このことから、当該地先における成長段階でのアサリの減少は波浪によるものと考えられ、波浪に効果的な対策が必要となる。

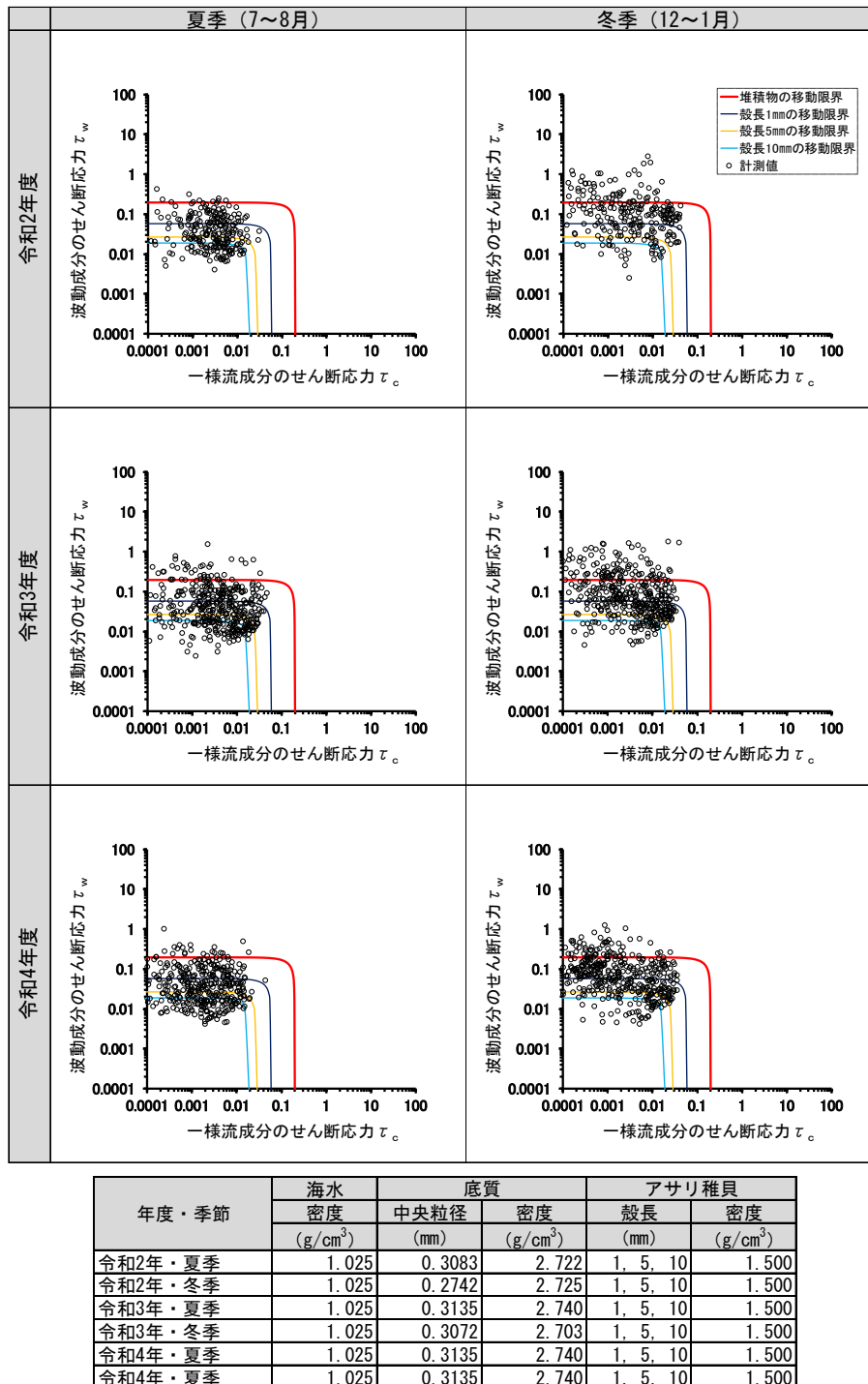


図26 セン断応力と堆積物・稚貝の移動限界（ τ_w は $U_{1/3}$ から計算）と入力したパラメータ